

一般質問通告事項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	議員名	三島 伸夫	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
1 働き方改革について	(1) 民間事業者への働き方改革の啓発・支援について (2) 市職員の働き方改革の現状について ア 市職員の労働時間・有給休暇の取得率の実態やその近年の傾向は如何に イ 生産性向上についての取り組みについて (3) 学校の教職員の働き方改革について ア 島根県教育委員会の働き方改革プランについて イ 各市町村教育委員会の取り組みについて ウ 保護者や地域の人々の役割について エ 教職員の数の見直しについて				
2 松江市の AI・RPA 活用について	(1) 松江市で導入時の担当部署・検討内容や期間の予定・人員配置・予算は如何に (2) 松江市における具体的事例について (3) 松江市で導入するときの問題点について				
3 交通政策について	(1) 新幹線について ア 島根県知事の姿勢についての松江市の考えは イ 新幹線の誘致活動の状況と今後のスケジュールについて (2) 地域交通について ア 松江市の公共交通の利用者数の推移とその感想について イ 松江市のタクシーの現状と問題点 ウ タクシーの公共交通への取込みについて				

順序	議員名	河内 大輔	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
1 松江市立学校での英語教育、小中学校での ICT 機器について	(1) 小学校の外国語専科加配教員・ALT・外国語活動指導協力員の役割、配置人数について伺う。 (2) 国際文化観光都市として、全国に誇れる英語教育を実践していくためには、外国語専科加配教員・ALT・外国語活動指導協力員の増員や、ALT の市独自採用などの積極的な施策が重要だと考えるが、見解を伺う。 (3) 小中学校での電子黒板やタブレット並びに Wi-Fi 等の ICT 機器の導入状況、及び他市の導入状況との比較について伺う。 (4) ICT 機器の導入はもちろん、ICT 機器を存分に活用した授業づくりが重要だと考えるが、今後の導入計画も含め見解を伺う。				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	議員名	河内 大輔	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
2 幼児教育無償化について	<p>(1) 10月から実施される国の幼児教育無償化により、どのような子育て環境の充実が期待できるのか伺う。</p> <p>(2) 国の幼児教育無償化は主に、3～5歳児を対象とした施策である。0～2歳児の保育料と人数について、特に保育料半額の対象外の第2子、及び保育料免除の対象外の第3子の人数について伺う。</p> <p>(3) 出生数は年々減少し、一人っ子が増え、子どもを3人以上持つ家庭の割合が低下している現状がある。第2子、第3子を安心して産み育てることができるように、更なる対策を広く展開していく必要があると考えるが、見解を伺う。</p>				

順序	議員名	太田 哲	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
1 生活保護について	<p>(1) 松江市においてケースワーカー1人当たりの担当世帯数は何世帯なのか、また配置標準数に対してどうなのか伺います。</p> <p>また、社会福祉士など有資格者体制はどのようになっているのか、今後どのように考えておられるのか伺います。</p> <p>(2) 全国的に受給者は微減しているが高齢者の受給率が増えています。松江市の状況はどうなのか伺います。</p>				
2 生活困窮者自立支援制度について	<p>(1) 松江市における生活困窮者自立支援制度の取り組みについて具体的に伺います。</p> <p>(2) 生活保護との連携または対応について伺います。</p>				
3 民生児童委員について	<p>(1) 12月に中核市となって初めて民生児童委員の任命があります。地区から申請を受けて市が人数を決定されたが前回と比較し人数を増やし地域の要望に応えられているのか伺います。</p> <p>(2) 民生児童委員のなり手不足の中で地区では福祉推進委員との連携や体制作りが大切だと思います。福祉推進委員の人数と民生児童委員のなり手不足の見解を伺います。</p>				
4 まつえ市民活動センターについて	<p>(1) 指定管理団体の募集期間は8月末までとして公募されましたが何団体、応募されたのか伺います。</p> <p>また、今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 4月以降、現在、利用されている団体(まつえ市民大学、男女共同参画センター、放送大学他)はどのようになるのか伺います。</p> <p>(3) 大橋川改修にともない白濁本町も新しい商店などができるとは思いますがその中で松江市市民活動センターの位置づけをどのように考えておられるのか伺います。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序 9	議員名 太田 哲	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨			
5 防災士資格取得助成事業について	(1) 今年度も10月に松江市で防災士資格取得の講習会が開催されます。資格取得助成事業の申請状況はどうか伺います。			

順序 10	議員名 吉儀 敬子	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨			
1 市ガス事業民営化について	<p>(1) 検討(検証)委員会で、委員からの資料要求に答えて市が作成した「公営企業と民間企業比較」について問う。</p> <p>企業の目的として公営企業は「住民の福祉の増進」を目的とし、民間企業は「利益の追求」を目的とすると、松江市自身が明らかにしている。</p> <p>利益を上げること、最大の目的とする企業に公営企業を売り渡すことは、市民の福祉の増進を犠牲にすることであり、市民の利益につながらないことを、松江市として認識すべきではないか。</p> <p>(2) 検討(検証)委員会報告書案には、「民営化後も公租公課の減免措置など市の関わりが必要」とあり、17%の加入者のために市が税金を減免することには、到底市民の理解が得られないではないか。</p> <p>(3) 報告書案に「会長・副会長見解」の項をあえて設けたことは、反対意見の委員が存在する中で「民営化の時期が来ている」と主張するために「会長・副会長見解」を設けたのか。</p> <p>(4) 鳥取ガスが4者に要望書を提出したが、何故市長は会わなかったのか。</p>			
2 除草剤ラウンドアップの使用中止について	<p>(1) グリホサートを主成分とする除草剤ラウンドアップを散布していたアメリカでは、昨年校庭の管理で散布作業をして悪性リンパ腫になったとして損害賠償請求が行われ、サンフランシスコ地裁で約3億ドルの賠償金を支払うことを命ずる判決が出た。以後、アメリカでは多くの訴訟が起こされていることを、どのように受け止めるか。</p> <p>(2) 輸入小麦の残留グリホサート基準値を、日本だけが緩和した。アメリカの農産物を輸入しやすくするために基準を緩める国の姿勢に対して市として厳しく抗議すべきではないか。</p> <p>(3) 松江市内の公園や学校の除草に除草剤ラウンドアップが使用されているのか調査し、使用されていれば直ちに散布を中止すべきではないか。</p> <p>(4) 輸入小麦は、パン、麺類、菓子類など多くの食品に使用されており、グリホサートを使わない国産小麦の自給率を高める施策を推進すべきではないか。</p> <p>パンを作るのに適した国産小麦を奨励し、学校給食のパンの県産小麦の割合を将来は100%にする目標に向かって、県と共に県下の自治体が力を合わせるべきではないか。</p> <p>乳幼児の給食やおやつに使用するパンに輸入小麦が使用されているのか調査し、輸入小麦が使用されているなら国産に切り替える指導をすべきではないか。</p>			

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	議員名	吉儀 敬子	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
3 東出雲公民館と複合施設建設について	<p>(1) 8月2日の東出雲まちづくり会議は、参加者から場所について反対意見が出たにもかかわらず、主催する自治会連合会が推進の決議を上げ、町民の中にしこりが残った。</p> <p>8月2日の混乱は、教育委員会が保健相談センターありきで、教育委員会主導でスケジュール通りに進めようとしたために、起こるべくして起きたのではないか。</p> <p>(2) 自治会連合会を構成する各地区の自治会長は、1年交代がほとんどであり、昨年のメンバーが十分に各自治会で論議をすることがなかった。2ヶ所の候補地のうち松江市は「保健相談センター」を指定したが、町民は8月2日に初めて教育委員会から正式な説明を受けており、町民の中での十分な論議を保障し納得の上で進めるべきである。</p> <p>教育委員会は、保健相談センターに固執するのではなく、東出雲町民の総意がまとまるように支援するという役割を果たすべきではないか。</p> <p>(3) 「保健相談センター」か、「支所ふれあい会館」かの2者択一ではなく、8月2日に提案された保健相談センターと周辺の公園はそのまま活かして、他の機能を支所ふれあい会館の敷地に新たに建てるという選択肢も含めて、町民の論議を保障すべきではないか。</p>				
4 ごみ袋の消費税値上げ分転嫁について	<p>(1) 10月から45リットルのごみ袋だけを消費税増税を理由に1円値上げするために、税金を使い周知徹底に職員の手間と労力を費やすことはやめて、値上げを中止すべきではないか。</p> <p>(2) ごみ袋に広告を載せることで、値上げを回避しようという姿勢を示すべきではないか。</p>				

順序	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨				
1 スマートシティの実現に向けた取り組みについて	<p>(1) スマートシティの実現に向けた取り組みは、既に社会実装の段階にある。国土交通省が公募した「スマートシティモデル事業」には、73件の提案があり、「先行プロジェクト」が15事業、「重点事業化促進プロジェクト」が23事業選定された。松江市の「スマートシティモデル事業」に対する考えと取り組み状況を伺う。</p> <p>(2) 先端技術を活用した新しい取り組みを何が何でも一番に始める必要はない。全国の各自治体が進める様々な先進事例を調査・研究し、松江市の課題を解決する方法として一番いいものを活用すればいいと思うが、そのためには、予め様々な情報を収集しておくことが必要となる。松江市として、どの様な体制で情報収集を行い、調査・研究しているのか伺う。</p>				
2 目指すべき松江らしいまちづくりについて	<p>(1) 松江市総合計画は「選ばれるまち 松江」の実現を目標に掲げているが、具体的には誰に選ばれることを目指しているのか。全ての年代の方に「選ばれる」という考え方もあると思うが、それでは、財源が厳しい中で取り組むべき松江らしいまちづくりとは思えない。「誰に選ばれるのか」もう少しターゲットを絞った方が、松江市が目指すまちづくりを市民、事業者、行政がしっかりと共有し、その実現に向けて行動できると考えるが所見を伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 1	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
2	目指すべき松江らしいまちづくりについて	<p>(2) 今後のまちづくりのポイントは、一つの自治体や地域に住み続けることを前提とするのではなく、複数の自治体や地域を移動することを前提とすることが一般的になる。人口減少社会では、人口を維持するために自らの自治体の社会増減を細かく分析することが必要となる。松江市の社会増減の実態がどうなっているのか。また、そこから推測される「松江市に住むことを選ぶ年代」はどの年代なのか伺う。</p> <p>(3) 「松江市に住むことを選ぶ」ことを前提に考えると、その際に不安になるのが、その地域の社会インフラや生活インフラ・サービスの情報がよく分からないことである。「官民データ活用推進基本法」が公布・施行され、オープンデータの取り組みが推進されている。松江市のオープンデータの取り組み状況について伺う。</p> <p>(4) スマートフォンやタブレット端末で使える「電子母子手帳」の普及が進んでいる。松江市もホームページで、アプリをダウンロードするサービスを開始しているが、その利用状況を伺う。</p> <p>(5) 母子手帳の情報は大変貴重なもので、災害等で紛失した場合など再発行が必要な場合もある。また、あわせてアレルギー等の情報や健診データ、生活習慣病の疾病管理等を行うことは、生涯にわたる健康管理という面でも有益である。母子手帳から継続する健康管理手帳という活用につなげるべきと考えるが所見を伺う。</p>				
3	地域公共交通の活性化について	<p>(1) 国土交通省は、MaaS等新たなモビリティサービスの推進を支援する「新モビリティサービス推進事業」を公募し、提案された51事業から「先行モデル事業」を19事業選定した。その中に、観光地型事業として「山陰エリア（鳥取県・島根県）における観光型 MaaS 実証事業」が含まれている。この実証事業の内容と松江市の関わり方について伺う。</p> <p>(2) 様々な情報を共有・活用するためには、一方で「安全に情報を管理すること」を検討する必要がある。MaaS実証事業でも、多くの関係者の協力の下で進められることになる。国は、情報銀行やデータ取引市場という仕組みも想定しているが、情報管理に対する松江市の考え方と今後の課題等について伺う。</p>				

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
1	生活に困窮する市民への支援について	<p>(1) 猛暑対策、ライフラインの供給確保について</p> <p>ア 厚生労働省通知に対する対応について</p> <p>平成24年2月23日の厚生労働省社会・援護局長発出の通知(社援発0223号第3号)「生活に困窮された方の把握のための関係部局・機関等との連絡・連携体制の強化の徹底について」で、「生活に困窮された方に関する情報を地方自治体の福祉担当部局が適切に収集する観点から、～中略～事業者等と連携を強化されたい。」</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
1	生活に困窮する市民への支援について	<p>「生活に困窮された方の情報が着実に必要な支援につながるよう、地方自治体の福祉担当部局にこうした情報を一元的に受け止める体制を構築されたい。」</p> <p>「福祉担当部局は、～中略～生活に困窮された方に対する訪問、電話かけ等を行い、安否、健康状態の確認を行うなど適切な支援を実施されたい。」とされている。</p> <p>この通知を受けた対応について問う。</p> <p>イ 電力の供給停止について</p> <p>資源エネルギー庁から電力会社やガス会社の社長あてに「福祉部局との連携等にかかる協力について」との文書が平成14年と24年に出され、その中で、「料金未払いによる供給停止に関し、柔軟な対応を行っていただくとともに、プライバシーの保護に配慮しつつ、福祉部局等との連携について協力していただくよう」と述べている。</p> <p>中国電力から福祉部に対し、どのような連携・協力の申し出があったか問う。</p> <p>ウ 水道の供給停止について</p> <p>厚生省水道整備課が平成12年4月13日付で「真に生活に困窮している者に対する機械的な給水停止を行うといった事態を回避するため、関係部局との連絡・連携体制の強化」を指示した事務連絡を出している。</p> <p>(ア)水道料金滞納による給水停止件数、事業所か個人宅かの別、給水停止日数の直近の近況を問う。</p> <p>(イ)「真に生活に困窮している者に対する機械的な給水停止を行うといった事態を回避するため」の、上下水道局としての取り組みを問う。</p> <p>(ウ) 関係部局との連絡・連携体制の強化の状況について問う。</p> <p>エ 生活困窮者がライフラインを止められる事態を防ぐため、関係部局・事業者の連絡・連携体制構築に向けた市長の決意を問う。</p> <p>(2) 無料低額診療制度の周知について</p> <p>就学援助世帯に周知できるよう、就学援助申請用紙に無料低額診療制度の内容と、市内で実施している医療機関の情報を掲載していただきたいと考えるが、見解を問う。</p> <p>(3) 市営住宅への入居に関して</p> <p>市営住宅入居の際のいくつかの点についての、2018年2月議会での答弁について、以下の点を問う。</p> <p>ア 市営住宅入居の際、連帯保証人が必要とされ、県の社会福祉協議会が行っている入居債務保証制度が使えない実態について</p> <p>(ア)「制度設計として公営住宅は対象ではないが、今後、関係機関との協議を始めていきたい」との答弁があった。その後の協議の状況を問う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
1	生活に困窮する市民への支援について	<p>(イ)市営住宅に入居する際の市の定めにも、連帯保証人でなければならないとの規定がある点について、「保証人に関していろいろな課題があると認識しており、これも併せて検討する。」との答弁があった。その後の検討の状況を問う。</p> <p>イ 「市営住宅 2,239 戸の内、車椅子に対応した住宅は 33 戸、全体の 1.5%、空き部屋はない」という答弁だったが、その後、車いす対応の市営住宅が増えたかどうか、空き部屋状況はどうかを問う。</p> <p>ウ 市民が安心して住まいを見つけられる松江市にして行くことについて、「関係部集まって対応を考えたい」という答弁だった。</p> <p>(ア)関係部が集まる呼び掛けを行う主体はどの部署か問う。</p> <p>(イ)対応の現状を問う。</p>				
2	少子化対策、子育て支援について	<p>(1) 国保料の子どもの均等割減免について</p> <p>子どもの数に応じて国保料の額が増える均等割額について、18 歳以下の子どもの均等割全額減免を求めたい。</p> <p>ア 松江市の場合、対象となる世帯、子どもの数、減免を実施した場合必要となる予算額を問う。</p> <p>イ 少子化対策の一環として、ぜひ実施していただきたいと考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 保育料無償化実施に伴う保育施策の前進について</p> <p>ア 無償化実施目前の現時点で、無償化により増える市の負担と減る市の負担、今年度及び来年度以降の差し引きの状況はいかがか問う。</p> <p>イ 今まで保育に使っていた市の一般財源額が無償化により減るのであれば、その額を保育施策のさらなる向上に使っていただきたい。特に、保育所男女別トイレの設置は一気に進めていただきたいと考えるが、見解を問う。</p>				
3	松江城に関する市民の声について	<p>(1) 車椅子の方や、階段を自力で登ることが困難な方の松江城へのアクセスについて</p> <p>ア 松江城を訪れるこれらの方々が、現状で観光できる範囲は、二の丸階段下までと考える。</p> <p>文化財保護の観点との調整が必要ではあるが、障害のあるなしにかかわらず、できるだけアクセスを保障するためにどのようなことが可能か検討していただきたい。見解を問う。</p> <p>イ 進歩が目覚ましい VR 技術を使えば、たとえば、松江歴史館で、松江城天守閣に登る疑似体験をするようなイベントも可能なのではないか。検討をお願いしたいが、見解を問う。</p> <p>(2) 松江城の櫓の黒い塗が一部剥げているのではないかと市民の方からの指摘があった。これまでの経過と今後の計画を問う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
4	教育について	<p>(1) 市独自の学力テストについて</p> <p>2018年11月議会で、市独自の学力テストについて、「先生方が子どもたちを指導する時間がさらに削られるのではないかと指摘したところ、「学力診断テストを、小4と中2で、学校の負担を減らす方向で設計中。現実的な実施方法を考えたい」との答弁だった。</p> <p>ア 現状とそもそもの目的を問う。</p> <p>イ 市の学テの目的が、全国学テの成績向上であれば、子ども達をさらに学力競争に駆り立てることになり、実施すべきではないと考えるが、見解を問う。</p> <p>(2) 産育休代替等の未配置について</p> <p>代替者未配置の実態があるかどうか、また、代替者を探すうえでの困難な状況があるのではないかについての現状を問う。</p> <p>(3) 教職員の超過勤務について</p> <p>ア 超過勤務の実態及び過労死ライン以上の超過勤務をしている教職員の現状について</p> <p>(ア)平成29年11月実施の勤務実態調査で、一月当たりの平均超過勤務時間数は、小学校51.0時間、中学校66.9時間、その他は45.0時間とのことだったが、直近のデータを問う。</p> <p>(イ)同じ調査で、過労死ラインとされる月80時間以上の超過勤務をした教職員は、小学校で67人(11.2%)、中学校では137人(36.5%)、他の2校で5人(17.9%)、全体で209人(20.8%)とのことだったが、直近のデータを問う。</p> <p>イ 授業の平均持ち時数について</p> <p>2018年2月議会では、1時間の授業に対して、必要な準備と総括の時間について、「法的な定めや研究データはないが、1コマの授業に対し、もう1コマあるいは2コマの時間が必要との声を多く聞いており、先生方は時間的に余裕がない中、限られた勤務時間で頑張っていると認識している。」との答弁があった。</p> <p>授業は週30コマなので、1時間の授業に準備・総括含めて1時間とすれば、週持ち時数は15時間以下、準備、総括計2時間とすれば、持ち時数は10時間以下が望ましいことになる。</p> <p>2018年6月議会では、平均持ち時数は「小学校25.1時間、中学校19.0時間、義務教育学校21.1時間、平均22.9時間」との答弁だった。</p> <p>今年度は少しでも改善されたかを問う。</p> <p>ウ 超過勤務削減に向けて、学校以外が担うべき業務について</p> <p>(ア)登下校に対する対応について、「働き方改革の趣旨に沿った中で各校の実態に合わせた対応を検討する」とのことだったが、検討の状況を問う。</p> <p>(イ)学校徴収金について、「口座引き落としできなかった場合の対応を担任や担当が行っている現状があり、極力減らしていきたい」とのことだったが、状況を問う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日	
質問項目	質問要旨						
4	教育について	エ	超勤削減対策について (ア)部活動の休業日について、スポーツ庁が平成30年3月に示したガイドラインを参考に、中学校長会や市P連との協議をすすめ、平成30年2学期に間に合うように各学校に周知したいとのことだったが、その後の状況を問う。 (イ)定時退庁日を部活動のガイドラインに合わせ、各校に周知したいとのことだったが、現状を問う。	(4)	再任用教職員の実態について 再任用教職員の人数、その内、担任をしている人数、省令主任となっている人数、部活動の主顧問となっている人数を問う。	(5)	教職員の労働安全衛生体制について ア 総括的な役割を担う安全衛生委員会について、2017年9月議会では、「設置していません。」との答弁、2019年2月議会では、「あります。」との答弁だったが、現状を問う。 イ 過労死ライン以上の超過勤務をしている教職員に対して、どのような労働安全衛生上の取り組みがなされているのかを問う。
5	選挙の投票率向上策について	(1)	出前投票所の拡充について ア 出前投票所の現状と、その効果について問う。 イ 今後、他の地域、市中心部にも必要ではないかと考えるが、見解を問う。	(2)	入院中、施設入所中の市民の投票について ア 現制度とその実施状況を問う。 イ 各投票施設で有権者が選挙権を行使しやすい環境整備に取り組む必要があると考えるが、見解を問う。	(3)	働き盛りの世代の投票率向上に向けての取り組みを問う。
6	原子力発電について	(1)	熊本地震の教訓について 2019年6月議会で、「2号機の新規制基準適合性審査においては熊本地震で確認されたような地震に伴い新たに発生する活断層、地形の変形を想定した審査がすでに行われていると思っております。」との答弁があった。しかし、 ・原子力規制庁地震・津波審査部門は「島根2号機の審査において、熊本地震を参照していない。」と述べ、 ・技術基盤グループ地震・津波研究部門は、「南阿蘇村方面を研究していて、益城町は研究対象ではない。地震に伴う地形変動という意味で、益城町の例は国内では初めてといえ、今後の検討課題。」と述べている。 以上のことは、答弁と矛盾すると考えるが、見解を問う。				

一 般 質 問 通 告 事 項【9月10日（火）】

令和元年第3回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	田中 肇	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	9月10日
質問項目	質問要旨					
6	原子力発電について	<p>(2)福島原発事故の原因について</p> <p>福島第一原子力発電所が炉心溶融事故に至った原因について、国会事故調査委員会は、福島第一原発1号機に津波が到達する2分前に地震によって異常をきたし、電源を喪失していた可能性を指摘している。</p> <p>津波が来る前に、すでに地震動によって原子炉内に異常が起こっていたとすれば、そのメカニズムを明らかにし、国内すべての原発について、予想される津波の高さに関係なく、対策をとる必要が生じる。</p> <p>一方、想定外の津波に原因があるとすれば、津波対策のみが必要という結論に導かれやすい。</p> <p>2018年2月議会では「原子力規制庁が設置した事故の分析にかかる検討会の平成26年7月の中間報告で、地震による影響は考えにくいとしているが、市としても今後の状況を注視したい。」との答弁があった。</p> <p>現時点での認識を問う。</p>				